

探究通信

2026 (第2号)

富山県立高岡高等学校

2026 年 7 月発行
編集 探究科学委員

課題設定報告会を開催 大学教員を交えて意見交換

5月21日(木)に探究科学科2年生が、課題研究の課題設定報告会を行いました。人文社会科学科14班、理数科学科12班、合計26班が8会場に分かれて、研究テーマやテーマ設定理由、研究の方針などについて報告しました。大学・高校の教員からの助言や生徒間での議論を受け、どの班も新たな視点や改善への気づきが得られたようでした。ここでは三つの班の研究内容を紹介します。

人文社会科学科

国語3班「六条の御息所と紫の上における『嫉妬』の対照性。なぜ一方は生霊となり他方は耐え忍んだのか？」

私達は、古典における人間の負の感情、特に「嫉妬」をテーマに研究しています。嫉妬には人間の感情が最も生々しく表現されると考えたからです。数ある作品の中でも『源氏物語』には、登場人物によって多様な嫉妬が描かれています。私たちは、嫉妬のあまり最終的に生霊にまで変貌する「六条御息所」に注目しました。今後は彼女の登場場面を分析し、誰に対してどのような感情を抱いていたのか、その内面を深く探究していきたいです。



地歴公民4班「被災した地域の人々のつながりを大切にするイベントのあり方について」



能登半島地震の影響を大きく受けた伏木地区では、現在も復旧作業が続いています。そこで私達は地域住民のつながりに注目し、そのつながりを大切にしてもらえる企画は何かを考えています。現在私達は、震災により公民館が取り壊された地域を対象にヒアリング活動を実施中です。今後は、地域の方々、人とのつながりを大切にできるイベントを企画・実施し、その効果や意義について研究を深めていきます。

理数科学科

数学班「課題研究成功の秘訣をさぐる」

課題研究を進める上で、コミュニケーションが課題研究の進捗状況にどのように影響を与えるのかを調査したいと考えました。コミュニケーションをはかる手段としてLINEでグループを作成している3人以上の課題研究班を対象に、コメント数やスタンプ数を集計しています。最終的に、各班のLINEグループの状況と課題研究の成果との関係について、有益なものを見いだすことを目標に研究を進めています。



《他の班の研究テーマ》

※テーマは現段階のもの

- ・物理1班 買い物バッグにおける保冷効率の最適化
- ・物理2班 最短時間で乾かすための「黄金条件」の探究
- ・物理3班 災害時の避難所で個々のプライバシーを守る防音対策
- ・化学1班 アレルゲン(タンパク質)の性質はどの条件で変化するのか
- ・化学2班 ペットボトルから燃料を取り出す
- ・化学3班 アンモニアや酢などのにおいを消臭するために最も効果的な身近なものの組み合わせは何か
- ・生物1班 外部環境要因の変化による土壌管理を調べる～グラウンドカバーの普及へ～
- ・生物2班 メダカの性比をコントロールする餌づくり
- ・生物3班 カタバミを中心とした食べられる雑草をどのようにして日常的に食べられる存在にするのか
- ・情報1班 高校生が漫画を描くのをためらう心理的な理由を明らかにし、その解決策を考える
- ・情報2班 うわさの広まり方のエージェントシミュレーションを用いたモデル化
- ・国語1班 句点によって印象が変わるのか
- ・国語2班 Mrs. GREEN APPLEの歌詞と概念メタファーについて
- ・地歴公民1班 地元を感じる食材と地元愛について
- ・地歴公民2班 高校生が信じやすいSNS投稿の特徴とは？
- ・地歴公民3班 地域探究学習でシビックプライドの養成を図る
- ・地歴公民5班 高岡高校生の行動や固定観念を変化させるようなルールのあり方を研究する
- ・家庭1班 乳幼児が泣き止む音とは！？
- ・家庭2班 記憶に残る新しい絵本
- ・英語1班 性格別英単語暗記法
- ・英語2班 「自立≠孤立」でない社会とは～デンマーク高齢者幸福度を支える要因～
- ・英語3班 英語になった日本語由来の借用語について
- ・英語4班 翻訳による情景描写の違いについて

HRで卒業生とリモート懇談 「探究」の心構えを聴く

1年探究科学科は、5月22日(金)7限に合同HRを行い、3名の卒業生から探究科学科での過ごし方についてお話を伺いました。先輩方との対談で、探究科学科の生徒が特に心に残った話(言葉)、また対談を通して得た抱負を紹介します。

★心に残った話(言葉)

- ・とりあえずやってみる。最初はやりたくなかったことで、やってみると自分を変えるきっかけになる。
- ・全力でやると、全力でやれる仲間が集まる。
- ・大学名や学歴に価値を見出すのではなく、自分がやりたいことをできているか。目的を決めてから手段を決めた方がいい。

★今後の抱負

- ・少しでも興味があるものがあったら参加してみようと思いました。これからは教室に貼ってあるチラシや張り紙をチェックして、積極的に申し込んでみます！
- ・これから始まる探究活動を先輩たちと同じくらい楽しみたいと感じました。探究科学科ならではの時間をどう活用するか、自分からやりたい活動を探して意欲的に取り組んでいきたいです。
- ・今回のHRで、高岡高校を卒業するのがますます楽しみになりました。これから勉強でつまづくことはたくさんあると思うけれど、それすらも楽しみたいです。高岡高校だからこそできることに進んで取り組み、自分の殻を破って成長していきます。



講師の卒業生の話に耳を傾ける
1年探究科学科の生徒たち